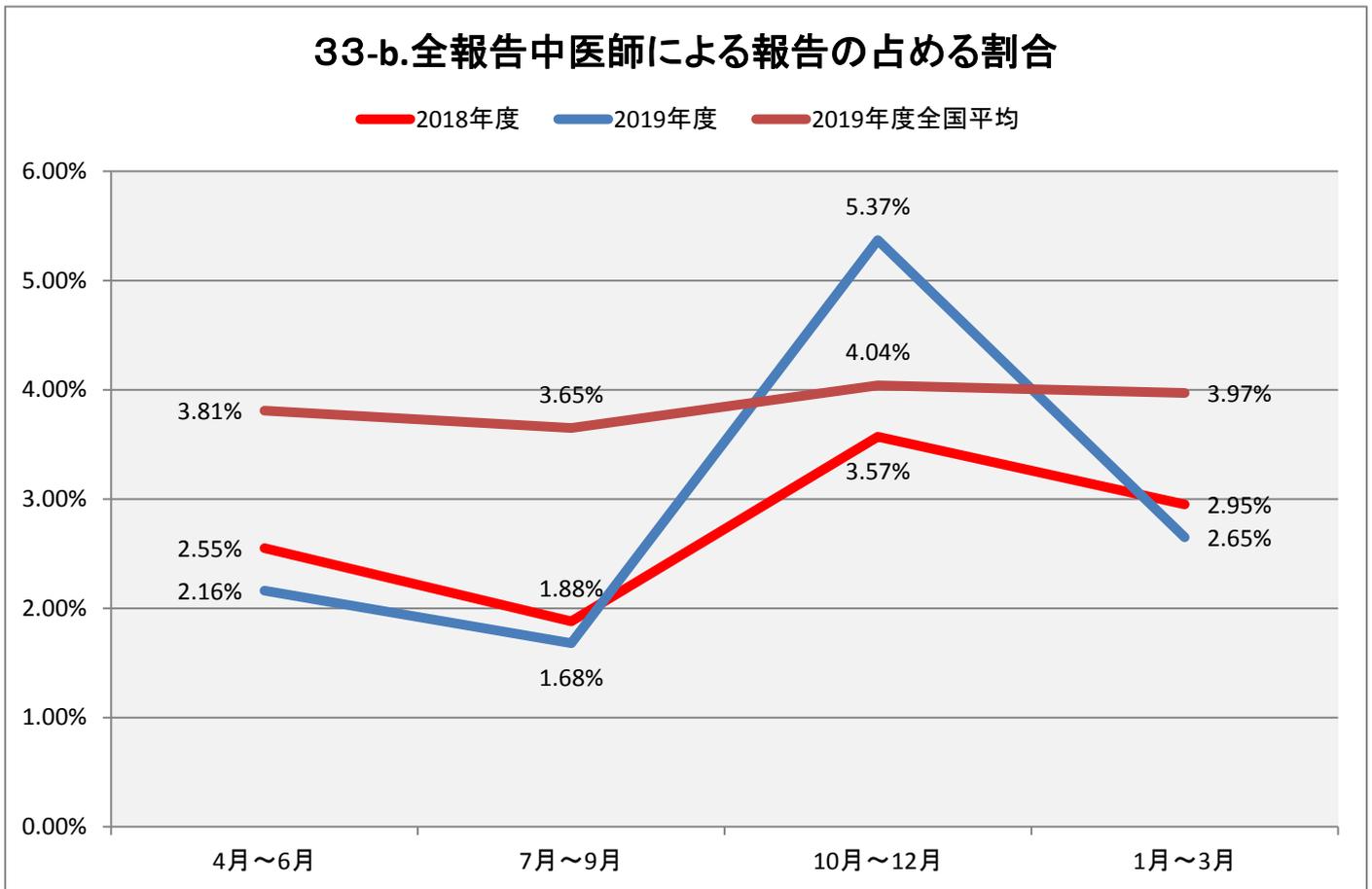


33-b.全報告中医師による報告の占める割合

(1) 調査結果



調査期間	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
2019年度	2.16%	1.68%	5.37%	2.65%
2018年度	2.55%	1.88%	3.57%	2.95%
2019年度全国平均	3.81%	3.65%	4.04%	3.97%

(2) 指標の説明

身体への侵襲を伴う医療行為は常にインシデント・アクシデントが発生する危険があります。その発生をできる限り防ぐことは医療安全の基本です。仮にインシデント・アクシデントが生じてしまった場合、原因を調査し、防止策をとることが求められます。そのためにはインシデント・アクシデントをきちんと報告することが必要です。一般に医師からの報告が少ないことが知られており、この値が高いことは医師の医療安全意識が高い組織の可能性がります。2018年度から採用された項目です。

(3) 定義

分子：分母のうち医師が提出したインシデント・アクシデント報告総件数
 分母：調査期間中の月毎のインシデント・アクシデント報告総件数